令和5年度　市民活動・絆づくり推進事業費補助金採択事業一覧

■協働パートナー部門

採択月	団体名	事業名	内容
4月	一般社団法人久留米健康くらぶ	健康・認知症予防の相談室「ほっとカフェ」開始で認知症早期発見・進行防止	【事業目的】 ・認知症の方や家族が気軽に相談できる相談室や相談会の開催により、本人や家族を支援 ・認知症の早期発見・進行防止の周知・講演活動の実施 ・各校区での認知症カフェの開設希望者の掘り起こしや開設支援の実施 【主な活動内容】 ・本人の集いや家族相談会の実施 ・相談室を設け、認知症の早期発見や医療・介護・認知症カフェへの橋渡しを実施 ・各コミセンなどで認知症早期発見セミナー等を開催し認知症カフェの設置支援を実施
4月	メモリー♪ケア	認知症予防のための音楽による健康づくり活動	【事業目的】 音楽には人を癒すだけでなく、歌うこと、楽器演奏が認知症予防に効果があると言われており、この活動に参加することで高齢者の認知症予防と健康増進に繋げることを目的とする。 【主な活動内容】 ・音楽に合わせて歌ったり、楽器演奏や体操をすることで、脳の活性化を行う ・高齢者施設を訪問し、楽器演奏や歌唱、簡単な音楽レクリエーションの提供を行う ・懐メロをオンラインで配信し安全に音楽レクリエーションを提供する
4月	久留米グリーフケアCafé～やすらぎの部屋～	久留米グリーフケアCafé～やすらぎの部屋～	【事業目的】 グリーフを抱えた方は、話す人がいなかったり、周りに理解してもらえないことにより、うつ病や認知症を発症したり、死を選択してしまう方も多い。 そのため、グリーフを抱えた方への傾聴や講座を通して、早期に日常生活を取り戻す支援をすることで、発症や自殺を防ぐ。 ※グリーフ：大切な人と死別・離別された方に起きる悲嘆とそれに伴う心や身体の反応 【主な活動内容】 ・グリーフケア・ペットロスケア　月１回 当事者同士の悩みを共有できる場づくり。講師によるセルフケア・ストレスケアの講話 ・講演会（啓発）　年1回 ・地域での啓発
4月	高良山の森と環境を守る会	地域でつくる高良山賑わい事業	【事業目的】 地域の大切な資源である「高良山」を賑わいづくりの拠点とするため、あじさい園やもみじ谷、遊歩道の手入れ、清掃等を行い、イベントを開催する。 【主な活動内容】 ・あじさいまつりの開催 ・もみじ狩り祭りの開催

令和5年度　市民活動・絆づくり推進事業費補助金採択事業一覧

■協働パートナー部門

採択月	団体名	事業名	内容
4月	エツ祭実行委員会	エツによる賑わいづくり活動	【事業目的】 筑後川河川敷を会場としたエツ祭を開催することで、関心を持つ報道機関等を通じて広域的に「エツ」を周知でき、城島地域に多くの人々が訪れ、城島地域の活性化につなげる。また、エツの減少には筑後川においてエツの住みやすい環境の減少も要因の一つであるため、筑後川河川敷のヨシ刈りを行い、水質浄化と環境美化を実施する。 【主な活動内容】 ・エツ料理教室 ・エツ祭　６月下旬 ・ヨシ刈り
5月	ASURA	田主丸地域の賑わいづくり事業	【事業目的】 田主丸地域の賑わいづくり事業地域は山苞の道を中心とした山辺や筑後川の川辺エリアに多くの観光資源を有しているのものの、賑わいがあるのは山辺エリアとなっており、川辺エリアの活性化が問題となっている。 そこで、川辺エリアの地域資源である川の駅を中心に、地域コミュニティ組織や住民と一体となって活性化を図ることで、田主丸地域の活性化の一躍を担うことを目指す。 【主な活動内容】 ・イベントに向けた準備 ・モリンガ等を活用した食品開発 ・情報発信活動 ・子ども向けのふれあいイベント
5月	NPO法人ハッピーママくらぶ	発達障害の啓発活動、発達障害児の学習支援、保護者支援	【事業目的】 近年、発達障害の認知は進んできたものの、まだまだ正しく理解されてない方も多く、当事者やその保護者にとって発達障害の啓発が何より必要であると思う。 保護者の方達の学びの場、情報発信などを進めてきた。今年度は、学習障害に力を入れての活動を盛り込む。 学校の勉強はさることながら、文字の読み書きは生きる力や大人になった時に人に騙されるようなことのないようにするための必須条件だと思う。そういう意味で支援学習を行いたい。 また、前年度と同様に、保護者の方達の交流会や役立つ講座も継続的に行う。 【主な活動内容】 ・朝倉博実先生の講座収録 ・お母さまたちのおしゃべり会(オンライン、対面織り交ぜながら) ・久留米大学人間健康学部の園田先生と学生さんたちによる学習支援 ・柳家花緑氏(2014年にADHDと読字障害の診断を受ける)の講演会
6月	gocochi-Next	発達障害理解促進事業	【事業目的】 〇自閉スペクトラム症児・者が生きやすい久留米を目指し、「支援の広がり」と「実践力の向上」を目指した研修会 〇店舗やクリニックへ訪問し、自閉スペクトラム症児・者が理解しやすいツールの提供 〇障害者や発達面での支援が必要な子どもに関する包括的な支援を、幼保小の区別なく一貫して行う体制の検討・整備（久留米市障害者計画・７１切れ目のない支援体制の確立） 【主な活動内容】 ・ついんくる★★講座（発達障害学習会）　8回／年　うち集合研修4回、オンライン研修4回 ・美容室・クリニック利用時の手順カードの周知

令和5年度　市民活動・絆づくり推進事業費補助金採択事業一覧

■協働パートナー部門

採択月	団体名	事業名	内容
6月	NPO法人筑後川流域連携倶楽部	未就学児を対象にしたSDGs教育	【事業目的】 本事業は未就学児を対象としたSDGｓ教育の実施を通して、子ども達の地域への興味・関心を高め、地域防災、資源循環、自然環境保全、多様性の受容など、持続可能な社会システムを構築する上で必要な点や考え方の醸成を行うとともに、子どもと地域コミュニティ組織などとの交流・子ども目線での発信を通じて、地域に広くSDGsに関する意識啓発を行うことを目的として実施する。令和４年度は三潴保育園、発心保育園の２園を対象に実施。実施後に各家庭を対象にしたアンケート結果から、園児を通じて家庭にまで効果が波及した事、さらには多くの家庭から継続してSDGｓ教育に取り組んでほしいという要望を得られた。保育園からは、保育園同士の交流の機会を持つこともできた事や、中高生から６０代の退職者世代まで幅広い方々と触れ合う機会を持つことができたことへの感謝の声を得ることができ、多世代交流の一翼を担うこともできたと考える。本事業をきっかけに、園と地域コミュニティ組織との繋がりが生まれたり、地場企業や市民団体との関わりも生まれた。このような点から、園からは再度の実施を強く要望されている。今年度は２年目として継続的に事業を実施する一方、さらに効果を出すことができるように以下の内容を実施していく。 【主な活動内容】 ・三潴保育園でのSDGｓ教育・・・５回 ・発心保育園でのSDGｓ教育・・・５回 ・未就学児向けのオープンSDGｓワークショップ・・・３回
6月	ツインズクラブ	循環型子育て支援システムによる多胎家庭支援Ⅶ ～多胎妊娠期からの切れ目ない支援を目指して～	【事業目的】 多胎は妊娠届出時から把握できる為、出産や育児に伴う困難を予想した支援を、こども子育てサポートセンターの保健師、多胎育児経験者であるツインズクラブの研修を受けたピアサポーターが連携しながら実施することで、妊娠中から切れ目のない支援（久留米版ネウボラ）の確立をする。今年度より多胎妊婦の希望者には妊娠中からLINEや電話等で先輩ママ繋がることができるマイサポート制度を開始。 産後鬱の予防、虐待の防止を目指す。また、地域の中で多胎家庭が孤立しないように多胎育児への理解者を増やしていく。 【主な活動内容】 7月30日他　ツインズフェスティバル 8月 9日他　定例会 9月29日　　リトルツインズ 10月 9日他　多児ファミリー交流会 12月 6日他　クリスマス交流会 3月10日　　多児育児フォーラム
6月	全国ギャンブル依存症家族の会福岡	ギャンブル依存症・啓発運動	【事業目的】 ギャンブル依存症に苦しみ、悩んでいる家族が連携して、ギャンブル依存症に関する問題の解決を図ること。関係機関と連携して依存症者の社会復帰を図ること。ギャンブル依存症に関する情報を広く社会に発信すると共に依存症の予防を図ることを目的とする。 【主な活動内容】 ・毎月1回2時間　ギャンブル依存症者の家族対象の学習及び情報交換ミーティング ・年2回2時間　ギャンブル依存症者を持つ家族対象の相談会 ・年6回予定　関係機関(医療・行政・教育)との意見交換会 ・年2回予定　依存症等専門家を招いての講演会 ・年2回予定　久留米大学にて学生対象の依存症予防教育セミナー ・随時,都度　競輪競馬競艇場,遊技場,各教育機関等へのチラシ配布連携病院,関係機関への家族会からの派遣

令和5年度　市民活動・絆づくり推進事業費補助金採択事業一覧

■協働パートナー部門

採択月	団体名	事業名	内容
7月	KANIKAPILA Music Club	世代を超えた音楽交流でまちに賑わいを創り、子供たちの夢を応援しよう！	【事業目的】 市中心部の賑わいと活力の低下が問題である。音楽のまちの魅力を高めることで来訪者を増やし、賑わいづくりをすることが目的。そのために路上音楽祭やくるめジュニア音楽祭を開催する。 【主な活動内容】 ・くるめ路上音楽祭（第１回） ・くるめ路上音楽祭（第２回） ・くるめ路上音楽祭（第３回） ・くるめジュニア楽祭
8月	聴覚障害教育支援NPO法人言葉の森くるめ	聞こえないってどんなこと 手話で楽しくコミュニケーション	【事業目的】 福岡県の手話言語条例成立を受け、久留米市と連携して聴覚障がい児・者にとって大切な手話の理解啓発のための活動を企画する。この活動を通して、広く市民に対し、聴覚障がいや手話についての理解を図る。そのことで、聴覚障がい児が将来社会活動に参加し自立を確実なものとすると共に、聴覚障がい児・者にとって人権が保障される地域作りを目指す。 【主な活動内容】 ・家族手話教室　9月～3月 ・しゅわしゅわ絵本　1月 ・あつまれ！かいじゅうの森　11月 ・デフリンピック選手の話・働くろう者の話　8月、12月 ・ふらっとカフェ　10月、2月 ・絵本の手話読み学習会　9月、1月
8月	(大橋町指出自治会2班)合楽“香気圧広場”づくりの会	合楽“香気圧広場”づくり	【事業目的】 地域内に存する竹藪跡地の荒廃地化防止と広場整備による地域の賑わいづくりが目的。合楽の指出神社横にある大きなクスノキの下に地域の憩いのオアシス・香りの広場を創る。広場の中心にらせん状に植栽した約700本のギンバイカ生産圃場を活用して観光スポットとなりゆくことを目指す。植物の香りが高気圧の風のように広がっていく、草木花の不思議な力が背中を後押ししてくれる、そのような香りの広場を地域で守り育てていく。 【主な活動内容】 ・香気圧広場ポポー＆銀梅花フェスタ ・苔玉づくりWS ・レクレーショナルツリークライミング ・フェスタ音楽演奏 ・ドライフラワーづくりWS ・苗づくり ・除草作業
8月	三潴町総合ボランティアセンター	やさしさと思いやりで、安心・安全で元気な地域づくり	【事業目的】 この会は多様化するまちづくりに関わるボランティア活動が活性化するように、その活動団体への支援及びネットワークづくりを支援する。そして、ボランティア活動へ誰でも・できるときに・できるだけ・気軽に参加できる心豊かな支えあいの地域社会の創生をめざす。 【主な活動内容】 ・「三潴町の古代史」大矢野久留米大学教授 ・「地球温暖化対策について」松田久留米大大学院法学部教授 ・「子育て支援対策について」大西筑紫女学園大学准教授

令和5年度　市民活動・絆づくり推進事業費補助金採択事業一覧

■協働パートナー部門

採択月	団体名	事業名	内容
9月	「本業＋α」Ｘ「そなえるくるめ」	「本業＋α」 × 「そなえるくるめ」を通じた地域で見守り育て、自主防災・自主防疫する体制構築事業	【事業目的】 　課題を抱える市民だけが地域課題の「当事者」ではなく、市民の誰しもが介護や育児における孤立、生活困窮、身寄りの問題、認知症,など、予期せぬライフコースの変化によって「課題の当事者」となる恐れがある。 　そこで、自らが暮らす地域を自らの力（市民力）でより良くし、その体制づくりを行うことを目的として、２団体（※）で協働し事業を行う。多様化する地域課題の解決や地域の活性化に向けて、特性を活かしながらそれぞれの活動領域を越えて連携する。また、両団体と他の市民団体、企業、行政（関係機関）などとの連携や協働事業を促進することで、市民の多様なニーズや価値観に即した選択肢を増加させる。今年度は、災害に特化したテーマで、今後も持続可能な活動を継続することを目的とする。 【主な活動内容】 ・そなえるくるめ講演会(ワークショップ)　10月 ・地域資源情報誌　9月～3月 ・官民協働情報交換会　9月～3月 ・講演会(住みびらき)　1月
9月	西鉄高架沿線活性会	西鉄沿線にぎわい活性化事業	【事業目的】 　西鉄高架沿線において、道路清掃活動や花を植えて華やかに彩ることにより、歩きたくなるような魅力的な道路とする。また、イルミネーションを点灯し来街者を増加させることで、まちのにぎわいを創出する。 　このような取り組みをすることで、国土交通省及び久留米市が推奨する「まちなかウォーカブルの推進」に寄与し、居心地がよく歩きたくなるまちを創出する。来街者が増えることで、集客・経済効果の向上と同時に事業を実施する中において、近隣住民、沿線商店、事業者間での情報交換の場が生まれ、地域内の交流をさらに高める。 【主な活動内容】 ・道路清掃　毎月第1土曜 ・花植え　6月,11月 ・イルミネーションチラシ配布　10月 ・イルミネーション点灯　11月～1月
10月	Dr.ブンブン実行委員会	第１１回　Dr.ブンブン　～オトナにチャレンジ！～	【事業目的】 ・「子ども達の未来のために。ふるさと久留米のために。」をキーワードとし、子ども達の健全な「こころ」と「からだ」を育むため、～医療の町久留米・商人の町久留米～にふさわしい「子ども医学部」と「お仕事体験（くらしの体験）」の２本柱を中心として、子ども達がふるさと久留米に対して愛着と誇りを持ち、将来にわたる久留米の担い手として期待できるような真に豊かな社会の創造を目指すことを目的として開催する。そのために、久留米のランドマークである久留米シティプラザをメイン会場とすることで中心商店街への来街促進も視野に入れ、新型コロナの影響で縮小していた事業も再開する。 ・今回の全体授業（基調講演）は「産婦人科」 ・「くらし体験」「スポーツブンブン」では、日常に密着した職業のブース（案として、警察・消防・自衛隊・銀行・郵便局・地元企業・伝統工芸等）や「ＳＤＧｓ・ＳＴＥＡＭ教育」を目的とした体験ブースを六角堂広場に集め、リトルタウン久留米として社会の仕組みも考えてもらえる担い手づくりへの機会を設けると共に、子ども達が憧れるプロスポーツ選手からの特別講習をおこない、心身ともに健やかな育成をおこなう。 ・毎回、未就学児に人気のある「テディベア病院（ぬいぐるみ病院）」も久留米大学医学部学生の協力を得て開催する。日常的にも会の運営サポートとして、他イベントへの参加や体験会等の開催などに協力している。 ・多くの子供たちが集まる会場で、久留米の文化発信として「久留米文化連合会」の協力を得て展示・発表・体験の場を設ける。 【主な活動内容】 ・第11回 Dr.ブンブン 子ども医学部、くらし体験、スポーツブンブン

令和5年度　市民活動・絆づくり推進事業費補助金採択事業一覧

■協働パートナー部門

採択月	団体名	事業名	内容
10月	けやきとアートの散歩路	アートのたねまきVol.12　めぐって繋がるまちづくり『久留米まちなか美術館』	【事業目的】 〇課題 ：市民並び観光客は久留米の市街地を回遊していない。地域資源である歴史的建築なども活用されていない。久留米のまちが「歴史と芸術の町」として十分にアピールできていないなどの課題がある。 〇目的：市民活動として『久留米市まちなか美術館』を文化のコンテンツとしてイベントを開催し賑わいを作っていきたい。久留米大学の経済学部の学生との協働主催とし、新たに『KURUMERU』や『お母さん大学』の協力も得て参加者をふやす。お寺ではアート展示の他、伝統工芸の絣の展示なども開催。久留米の市街地にいま既にある魅力ある場所や芸術をお知らせするを『プレまちなか美術館』として豊福知徳氏の（愛の泉）『石声庭』でのライブコンサートを開催予定。市民や観光客の方に久留米の町の良さを再発見していただき、市街地全体も回遊し、様々の体験を通して若者同士の交流や親子での参加を創出したり新しい出会いを楽しんでもらう。訪れたい楽しい街を広くアピールしていく 〇結果：「芸術のまち久留米」の認知度も向上し、久留米を『訪れたくなるまち』『住みたくなるまち』『アートで癒されるオシャレな町』を目指す。また学生たちにはSNSなどを駆使して告知に協力して、もらう。若い世代や子育て世代から高齢者まで多世代を超え広く認知してもらう。 特に若者の力を借りて、まちなか美術館のアートイベントを継続可能なイベントとしていく 【主な活動内容】 ・久留米まちなか美術館　11月1日～30日 ・久留米の魅力を高めるシンポジウム　3月
11月	高良山観光ボランティアガイドの会	高良山観光ボランティアガイド事業	【事業目的】 高良山は自然・歴史的環境に恵まれ、観光・学習・健康増進など、市内外から多くの方々が訪れる。 高良山の来訪・誘客の拡大に貢献するとともに、その来訪者の満足度を一層高め、さらには久留米のにぎわいを高め、情報を発信していくことを主たる目的とする。 【主な活動内容】 ・学校の高良山魅力体験事業　11月以降 ・看板整備　コース保全活動　11月～3月 ・講演会　2月
11月	BS通り街づくり推進協議会	第10回　BS通りさくら祭り音楽祭	【事業目的】 BS通り沿道地域の魅力ある街づくりを推進し、もって地域振興を図ることを目的とする。 また、久留米城址という本市の歴史資源を、観光スポットとして魅力向上を図ることにより、地域の活性化を推進する。 【主な活動内容】 ・BS通りさくら祭り音楽祭　3月
12月	一般社団法人アカルカ福祉協会	第8回キラリ☆マルシェ	【事業目的】 近年、障害者の就職件数は年々増加傾向にある。しかし、障害者全般で見ると本人らしい社会的な自立が乏しい現状がある。本企画では、就労系福祉サービス事業所と利用者の自立を目指すとともに、障害者本人や保護者に将来の進路に関する情報を提供し、進路を考える機会として活用してもらう。 令和４年度まで過去、新型コロナの影響を受けた年もあったが、久留米シティプラザなどでの物販会やステージイベントで「キラリ☆マルシェ」での大きな賑わいをみせ、大きな実績を残すことが出来た。 今年度も「キラリ☆マルシェ」を開催し、障害当事者や難病当事者、その支援者とともに、就労系事業所と地域や一般企業との接点を設けることで障害者就労に関する理解の促進を目指す。企業や特別支援学級・特別支援学校へのパンフレットの配布等を継続して啓発を進めていく。また、障害のある中高生ならびにその保護者へ向けての進路情報の発信の場としてもSNS（フェイスブックなど）キラリ☆ポータル等のインターネットサイトを活用していく。 【主な活動内容】 ・啓発チラシの配布,設置　12月～2月 ・学校へ向けた啓発チラシ配布　12月～2月 ・キラリ☆マルシェ　2月24日

令和5年度　市民活動・絆づくり推進事業費補助金採択事業一覧

■かなえるニーズ部門

採択月	団体名	事業名	内容
4月	心眼ハートあいず	誰もが暮らしやすい社会を目指して～見えない・見えにくい大人やこどもの学習会や交流会～	【事業目的】 視覚障害児・者のＱＯＬ向上。当事者やその家族、支援者が共に学び合う場をつくる。また、視覚障害者が情報を得にくい立場であることを課題認識し、防災に視点を置いた活動で、多様な機関との連携体制づくりを推進する。また、それを広く市民に周知することで安全で住みやすい環境作りを目指す。 【主な活動内容】 ・災害支援学習会（備えあいフェスタ　年2回） ・視覚支援制度・機器学習会 ・視覚障害者理解啓発活動（電車のホーム転落防止、点字ブロックなど）
4月	バブーシャの会	バブーシャの会(ホームステイ＆ビジット)	【事業目的】 家庭に困難を抱え、体験やつながりの少ない子供たちに、ホームステイ、ホームビジットの形態で安心安全な居場所と家庭体験の機会を提供することで、生きづらさや先の見えない不安などを温かく受け止める居場所をつくる。また、お泊りや訪問体験を通じて、子供たちに人間関係や社会性、目標づくり、自立心などを育てるきっかけとする。 【主な活動内容】 ・子ども達の受入家庭（バブーシャ）育成のため、勉強会・学習会などの開催 ・体験を希望する子どもと受入家庭のマッチング
4月	Perche（ペルシエ）	Percheを通じて地域全体の活性化を生み出す仕組みづくり事業	【事業目的】 新型コロナウイルスの影響で人と会うことが極端に減り、暮らしに不安を感じる人が増えている。特に産前産後のママは核家族化などで周りにサポートする人がいないことが多く、孤立や疲弊することが多くなっている。そういう状況を少しでも軽減するため、交流会などを通して人とつながったり、経験者や同じ境遇の人と共有することで、豊かな日常を取り戻していくための場を提供する。 【主な活動内容】 ・交流会や交流イベントの開催
4月	特定非営利活動法人　PORT	自閉症の子供たちの居場所づくり	【事業目的】 発達障害の子供たちが同じ悩みを共有し、自分のペースで活動することが自然と受け入れられるような仲間づくりや居場所をつくることで、発達障害の児童生徒が、いきいきと当たり前の生活ができるようにすることを目的とする。 【主な活動内容】 ・発達障害の児童・生徒だけでなく、健常者も含めて農業体験や生活体験を行うインクルーシブキャンプを実施する ・子どものプログラムと別に、保護者の学習機会の提供、情報交換の場の提供をする

令和5年度　市民活動・絆づくり推進事業費補助金採択事業一覧

■かなえるニーズ部門

採択月	団体名	事業名	内容
4月	住民型認知症予防カフェ連絡協議会	住民型認知症予防カフェの情報交換と開設サポート及び推進	【事業目的】 久留米市内に住民型認知症予防カフェを開設又は開設予定の組織の代表者、及び会の趣旨に賛同する方の情報の共有や交流などを行うことによって、認知症予防カフェの開設や円滑な運営の支援を行う 【主な活動内容】 ・認知症予防カフェの啓発、開設セミナーの開催 ・開設・運営者する人材を発掘する人材掘り起こしセミナーの開催
4月	筑後を守るドローン隊	子どもから高齢者までの居場所づくり事業	【事業目的】 共働き家庭や母子・父子家庭の小学生の、子どもたちの毎日の放課後や、学校休業日の居場所づくりの役割を団体が担い、親の働く権利と家族の生活を守ることを目的とする。 高齢者の孤立化や、買い物に出かけることが出来なくなるなどの社会課題に対し、高齢者を”取り残さない”為に、ケータイ・スマートホン・パソコンを使ってのコミュニケーションのやり方やインターネットを使った買い物方法を、優しく個々に分かりやすく学ぶ場を作る。また、認知症予防にも取り組む。高齢者をデジタルデバイド（デジタル難民）から守り、高齢者も参加できるデジタル社会の実現を目指す。 【主な活動内容】 ・子どもの居場所づくりプログラミング教室　1ヶ月に１回 ・シニア向けスマートフォン教室　1ヶ月に1回
4月	地域活動応援塾・くるめ	市民の地域活動への新たな参加、応援事業	【事業目的】 支え合いや地域課題解決の活動などに興味・関心のある市民を掘り起こす学習会や、地域活動への参加を促す事業を実施することで、市民の孤立防止や高齢者等の認知症予防、身近なお困りごとや地域課題の解決に繋げることを目的とする。 【主な活動内容】 ・地域活動のデジタル化支援 ・地域活動の取組み事例を学ぶ学習会の開催
4月	高良山竹林環境研究所	高良山の竹林保全及び啓発活動	【事業目的】 高良山の竹林の状況を地元の人達に知ってもらい「地元の宝の山、高良山」であることや「資源の大切さ、資源の活用などを地域の人たちや将来を担う子ども達に伝え、守り続けてほしい」そんな想いを伝えていく。 ・地域の方々や子ども達へ高良山竹林状況の認知を深める。 ・高良山の里山保全 ・竹林の利活用 【主な活動内容】 ・幼竹の利活用で竹林保全（地域の方や子ども達とメンマづくり体験） ・高良山の竹林状況報告とメンマ試食会 ・竹林の保全活動（放置竹林の伐採など）

令和5年度　市民活動・絆づくり推進事業費補助金採択事業一覧

■かなえるニーズ部門

採択月	団体名	事業名	内容
4月	コップルーム～寄り添いホッとチャイルドライン安心安全な居場所～	困難を抱える子どもたちの不安や悩みに寄り添う安全安心な居場所づくり	【事業目的】 困難を抱える子どもたちの不安や悩みに寄り添う安全安心な居場所づくりに取り組む。 子ども達のニーズに合わせながら、寄り添い支援、学習支援、ものづくり、遊びなどを通して、安心安全な場所を提供しながら、その中で見えてくるDVなどを含む家庭の問題やいじめの問題にも留意し支援していく。 【主な活動内容】 ・居場所づくり（学習支援、遊び）　月２～4回 ・オンライン相談、グループミーティング　月1回 ・親子体験、芋掘りなど　2～3か月に1回 ・調理の会　　3か月に1回 ・ミニ講演会、食育の会
4月	山本校区ほたるの里づくり実行委員会	山本校区ほたるの里づくり	【事業目的】 水生生物が豊富に生息する水辺の環境を好む里山生物の象徴である「ほたる」を守り育てることを通じて、山本校区の豊かな自然環境を守り、次の世代に繋いでいく。 【主な活動内容】 除草などにより地域の豊かな水辺を守り、河川、水路にほたるの餌であるカワニナを放流することで、ホタルを増やし、ホタルの里をつくる。
5月	特定非営利活動法人高齢者快適生活つくり研究会	タウンモビリティ	【事業目的】 高齢者や障がいのある人にとって街の中には、「車椅子だとスロープ付きのバスしか乗れない」「一人で満足に買い物ができない」「歩行器などで歩くと街中は段差が多い」など外出をした際には、様々な壁があります。障害があることで、外出を控え家に引きこもってしまう。高齢者や障がいのある方が、気軽に外出を行い、地域から孤立しないように、ボランティア介助しながら買い物などのサポートをしていく。このような活動を推進することで、高齢者や障がいのある人に優しい街になることを目指します。 【主な活動内容】 ・買い物等のサポート ・イベント(食事会・バスハイクなど）

令和5年度　市民活動・絆づくり推進事業費補助金採択事業一覧

■かなえるニーズ部門

採択月	団体名	事業名	内容
5月	くるめサーキュラーエコノミー実行委員会	久留米市におけるサーキュラーエコノミー(循環型経済)の普及促進活動	【事業目的】 大量生産・消費型の経済活動は、大量廃棄型社会を形成し、健全な物質循環を阻害しています。また気候変動、天然資源の枯渇、生物多様性の破壊など様々な環境問題にも密接に関係しています。この事から、持続可能な形で資源を利用する「循環経済」への移行を目指すことが世界の潮流となっています。本事業は久留米市において循環経済(サーキュラーエコノミー)の実現を目指し、消費者ではなく地域循環者として住民が主体となり、事業所、NPO(市民公益活動団体)、行政などが、各自の立場からその普及啓発を協働の手法を持って進めていく事を目的として実施するものです。まずはゴムや絣、農産物といった久留米らしい特色を活かした循環啓発を起こすことで、市外から見た住民主体の環境活動やイメージをさらに良くする効果をもたらします。その結果、地場企業のモノ・サービスの魅力の向上、労働者の働き方改革、自社への愛着の増加、Z世代の雇用確保等や、将来的には移住・定住の促進にも繋がる事が期待されます。 【主な活動内容】 ・準備(毎月定例ミーティングを実施) ・説明会(HP・動画にてメンバーを公募開始) ・プロジェクトリリース(講演会・交流ワークの開催) ・参加型ワークショップ01(勉強会) ・サーキュラーエコノミーマルシェ開催 ・視察：他エリアの実践 ・参加型ワークショップ02(勉強会) ・報告発表・来年度の説明
5月	久留米SDGｓスタートアップ実行委員会	久留米SDGｓスタートアップ実行委員会	【事業目的】 「半径3メートル以内の人の悩みを持つ人のサポート」をスローガンに、主に不登校や引きこもりの本人や保護者の悩み相談を行い生きづらさ軽減するサポートをしていく。 不登校は成人の引きこもりに移行するケースも多く、また、成人の引きこもりは長期化する事例も多い。また、現時点では不登校までは至っていないなど、問題が表面化していないが実は悩みを抱えているような「グレーゾーンの生徒」が見過ごされサポートされていない。 このような子どもたちは、悩みを抱えているけれどその悩みを表現する(言語化する)ことや解決方法が自分では見いだせずにいることから、コミュニケーションを円滑に行うためのスキルや考え方を学ぶことで、自分自身で未来を切り開いていくための力が高まると考える。 様々な悩み相談を受けながら感じている若者の自己肯定感の低さを解決するための啓発活動を行うとともに、子どもたちが自分自身で未来を切り開いていくための能力やスキルを身につけるサポートを行うことを事業の目的とする。 【主な活動内容】 ・交流会1回目 ・交流会2回目 ・交流会3回目 ・生きづらさを希望に変える！SDGｓワークショップ～未来への羅針盤at久留米～
5月	STEAM KIDS JAPAN	おうちSTEAMプロジェクト	【事業目的】 核家族化等により日々仕事や家事に忙しい保護者は、子育てについて考える時間や子供と向き合う時間を思うように取れない。例えば、仕事・子育ての両立、子どもの登園・登校しぶり、家庭での声掛け・家庭教育に関する悩みや不安を気軽に相談する相手との繋がりを持っておらず、一人で悩みを抱え込んでしまう保護者も多い。 そこで保護者向けに、身近にある物や道具を使って子どもたちと取り組める遊び/学びを活用したワークショップを通じて、子どもとの向き合いかた等を学ぶ。この取り組みを通して保護者の孤独を防ぎ、ゆるやかで細く長く続くつながりを構築する。 【主な活動内容】 ・おうちSTEAMプログラム(3ヶ月)　オンライン ・おうちSTEAMワークショップ　えーるぴあ ・ラボラトリー(修了生コミュニティ)　オンライン

令和5年度　市民活動・絆づくり推進事業費補助金採択事業一覧

■かなえるニーズ部門

採択月	団体名	事業名	内容
5月	ゆるっぽ	子どもの自由な遊び場の確保。社会への発信。居場所づくり。	【事業目的】 子どもが自由に遊べる場は少なく、公園等では親も子もルールにしばられ自分らしくいられないことも多い。自分の責任で自由にあそぶことをテーマに、子どもたちに、「なるべく自由に、やってみたい」をかなえられる遊びの場および体験活動の提供。大人も子どもも自分らしくいられる居場所の確保。自由な外遊びの大切さ、理解への情報提供。学校等へのいきしぶり、不登校がある子とその保護者への居場所づくり、情報提供。それらに関した活動等を行っていく。 【主な活動内容】 ・森で遊ぼうの会(5,6,9,12,2月) ・こどもマルシェ ・居場所づくり、保護者の会
5月	虹の会	ひきこもりの人の居場所づくり事業	【事業目的】 ひきこもり当事者が社会的繋がりを持てる居場所づくりを行う。居場所を通じてひきこもり当事者やその家族間との交流を促進する。交流を重ねていくことで、ひきこもり当事者と関係機関との繋がりを創出する。そして、関係機関の支援を経てひきこもり当事者が社会的、経済的に自立できることを目的とする。 【主な活動内容】 ・居場所開設(週1回程度) ・家族会(月1回) ひきこもりに関する研修会
5月	ダンデライオン 不登校ひきこもりを考える親の会	知る・語る・繋がる不登校ひきこもりを考える茶話会	【事業目的】 当事者親子が悩みを軽減し、自分達らしく前に進める一助になることを目的として、同じ悩みを抱える親同士が不登校ひきこもりについて「知る」「語る」「繋がる」機会を作る。 【主な活動内容】 ・茶話会形式の相談・意見交換 ・勉強会
5月	久留米断酒友の会	久留米断酒友の会	【事業目的】 アルコール依存症から脱却する為に同じ痛みや苦しみを共有し、本音で話せる仲間作りを目指します。その為には、専門病院や公的機関と連携し、自助グループとしての活動を広めていく。 【主な活動内容】 ・永年断酒されている人の話を参考にして、自分に合ったやり方を勉強し、断酒継続に繋げていく ・入院患者と、病院スタッフと、断酒会会員及びその家族が集まり院内定例会を開催する ・病院主催の家族会(依存症という病気を家族の立場から理解し、対処法を勉強していく)

令和5年度　市民活動・絆づくり推進事業費補助金採択事業一覧

■かなえるニーズ部門

採択月	団体名	事業名	内容
6月	ぎゅったの会	柴刈校区地域資源活用・魅力発信事業	【事業目的】 柴刈地域は、高齢化率も高く、また、山辺の地域に比べて賑わいもなく、取り残された地域になってきている。しかし、川の駅や仏閣・伝統行事など、賑わいづくりのきっかけとなる地域資源が数多く存在している。そのため、地域資源の磨き上げや魅力の発信を通して、地域の活性化につなげる。 【主な活動内容】 ①伝統行事・イベントをドローンで撮影・編集・発信 ・HPやYouTubeでの配信及び地域イベントなどで放映 ②景観の為の整備(桜・紫陽花並木・コスモス・ひまわりの草刈り・施肥) ③イベント 【新嘗祭、ひまわり・コスモス鑑賞会】出演者3団体弁当・パン・野菜販売 【桜まつり】出演者3団体弁当・パン・コーヒー・野菜の販売
6月	一般社団法人ロビーナ企画	高齢者の居場所づくり～音楽を通じた健康づくり～	【事業目的】 コロナ禍で孤立し外出を控えるようになった方の運動機能の回復、脳トレやフレイル予防、交流の場づくりのサポートを行う。身近な道具を使って懐かしい音楽とふれあい、同じ境遇の人とのつながりや、新たな出会いなどを提供する。 【主な活動内容】 ・R5.6月より　1～2回/月　身近な道具を活用した高齢者向けの居場所づくり（講演会） ・R5.10月　交流会の実施
6月	ミナミナこどもきち	南校区におけるこどもの居場所づくり	【事業目的】 南小学校区 には児童センターや図書館等がなく子どもたちが学校の休日に遊んだり学んだりできる屋内の場所がない。また、学童保育は 3 年生までしか入所できず、 少子化や核家族化、専業主婦の激減により家庭において子どもだけで過ごすことが増え、メディア 機器や サービスの増加という環境も加わり、メディア機器の使用時間が長くなり、心身の健康へ の影響も懸念されている。子どもたちが 安心して友達や地域の人と過ごせる場所を設けることで、 子どもたちが安心して成長できるまちづくりを目指したい。 またそこに関わる大人を増やすことで地域のつながりを深め、地域の活性化も期待できると考えている。 【主な活動内容】 〇子どもの居場所設置 ・集会所やコミュニティセンターを借用し、子どもに開放。（自由参加型）　・ 自習室の設置 ・告知チラシ配布 ・玩具購入 （カードゲーム、ボードゲーム、ボール等 ・学生ボランティアに遊びと学びの協力を依頼 【講演会開催】 ・地域の施設を利用した居場所づくりのノウハウを学ぶための講演会 ・利用者、協力者拡大のための SNS 活用講座

令和5年度　市民活動・絆づくり推進事業費補助金採択事業一覧

■かなえるニーズ部門

採択月	団体名	事業名	内容
6月	spirit color-自分を知るって楽しい-	親子で自己表現を楽しみ交流する場の提供	【事業目的】 昨今、核家族の増加や保育施設、学校での『パパ友』『ママ友』の輪に入れない孤独など、親の育児に対する精神的な負担（困り感）が増大している。しかし、そのような悩みを互いに話したり、子育てに関する情報を交換したり、共有する場が不足していると感じている。 そのため、親同士や親子の交流を促進する場としてワークショップやイベントを開催して、親の育児への不安を軽減する手助けをする。ワークショップでは、親子で一緒にものづくりを体験し絆を深めたり、交流の時間を設ける。イベントでは、親子で楽しめるコーナーのほかに、それぞれの個性を知り、その個性に合わせた接し方を学ぶことができるコーナーや交流スペースもつくることで、「親・子の絆を深め」、「楽しみながら交流出来る場」を提供して、子育ての不安を解消したい。 【主な活動内容】 ・ワークショップ＆子育ての交流会 ・体験は宝だ（魂震える体験を） ・仲良し夫婦のパートナーシップのお話会
9月	まちいくサロンcote	乳幼児期における「子育ち」「親育ち」を育む環境整備事業(まち育)	【事業目的】 我が国のこども虐待による死亡事例はの年齢は、０歳児が全体の約６割、そのうち新生児が約4割を占め、主たる虐待者は悲しいことに母親である。　このことから妊娠期からの対応が追われ、行政や職能団体はケア・マニュアルを作成し、対策を講じてきた。しかし、児童相談所における、こどもの虐待相談件数は20万件を超え（2021年厚生労働省）その数は今なお増加の一途を辿っている。子育て期の母親の社会問題の１つに、育児の心理的、肉体的負担に耐えれないという理由が半数以上を占め、子ども自身が健やかに育っていける社会、子育てに喜びや楽しみを持ち、安心して子どもを生み育てる事が出来る社会を形成出来る子育ち環境が求められている。これらを受けて当団体は、乳幼児期の子どもと母親とその家族を対象に、地域住民と経験豊富な専門職者（助産師・看護師・保育士・精神保健師）が協働して見守る、地域で支える体制「まち育」を実施する。これらの効果として、人間関係の希薄化、孤立する母親に対し、家族に最も近い地域住民が寄り添うことで、子どもの成長だけではなく、親としての成長を応援し「自己肯定感」を高める支援が実現可能と考える。さらに、久留米市行政各種との連携による継続的な活動により、子育て期の母親とその家族が、安心して子育ちに専念出来る環境づくりが可能であるといえる。 【主な活動内容】 ・チラシ,リーフレット作成配布 ・タッチケア教室 ・絵本ひろば ・交流イベント
9月	まなびあい・久留米	スマホ等デジタル機器にまつわる子ども達の問題を学びあう活動	【事業目的】 現在子ども達の生活には、スマホやタブレットなどのデジタル機器があふれている。それら機器の使用により子ども達の脳に変化が起こることが多くの研究から明らかになっており、スマホやゲーム依存の子どもは増加している。 この事業は、保護者や援助者が知識と対処法を学びあうことで、子ども達をデジタル機器による心身の不調や依存症から守ることを目的にする。 【主な活動内容】 ・勉強会　月1回 ・講演会　3月

令和5年度　市民活動・絆づくり推進事業費補助金採択事業一覧

■かなえるニーズ部門

採択月	団体名	事業名	内容
10月	皆で懐メロを唄う会	懐メロを皆で歌う会等開催事業	【事業目的】 懐メロを唄う趣味がある人たちを中心に、毎月集まれる機会を設け、懐メロ以外にもラジオ体操や炭坑節を踊ったり、年に一度は内容を拡大した「みんなでうたおう懐メロの会」の機会を創り、楽しみながら健康を維持し、各自が介護保険事業に努めてかからないで良いようにすることによって、より多くの高齢者等が楽しく過ごせる居場所を創設します。 【主な活動内容】 ・10月拡大生オケ懐メロの会 ・定例会　11月～3月
10月	NO!SHくるめ	子どもに伝える体と性のはなし～自分も相手も大切に～	【事業目的】 ①性情報があふれる中で、子どもたちが自分や他者を傷つけない行動を選択する力を身につけられるように、子どもたちと一緒に考え、ともに生きるおとなであるために、おとなが人権に根差し体と性に関する知識を学ぶ。 ②性暴力被害が多発する中で、加害者の攻撃を自ら回避するための理論と具体的なスキルを身につけるための機会を提供する。 【主な活動内容】 ・ワークショップ／子どもに伝える体と性の話　11月18日 ・ワークショップ／女性のための護身術　11月18日
12月	なんくんミライラボ(旧ほかまちミライラボ)	南薫校区エリアを活用した地域おこし	【事業目的】 近年の南薫校区は校区外からの転入者や外国人住民が増えているが、地域住民と新しい住民との関係が希薄な印象を受ける。さらに地域内外から見たこのエリアの強みを明確にする必要もある。そこで、今後を見据えた地域コミュニティ再構築のため、①多世代交流の場づくり②地域の活性化を目指す。 ① 地域の高齢者と若いファミリー層が、遊び・歴史・文化・防災・清掃などの活動を体験し、交流することで地域の魅力を発見する機会となる。地域に誇りと愛着を持ってもらうことで、将来地域を活性化する担い手を育成していく。 ② 本区は西鉄久留米駅からほど近い距離に、緑に恵まれた多くの公園や施設が密集しており、心と体の健康を促進できる場所。公園エリア全体の連携でイベントを開催し、賑わいを生むことで、地域内外の住民が繋がることができる魅力的なスポットとなりえる。 【主な活動内容】 ・まちの魅力をチョークアートで書こう　1月 ・手作り飛行機を大空に飛ばそう　2月 ・桜ポタリングと染物体験　3月

令和5年度　市民活動・絆づくり推進事業費補助金採択事業一覧

■かなえるニーズ部門　協働のたねまき・チャレンジ枠

採択月	団体名	事業名	内容
4月	自閉スペクトラム症について学ぶ会	自閉スペクトラム症の啓発事業	【事業目的】 自閉スペクトラム症児・者の過ごしやすさや生きやすさにつなげ、二次障害や関連障害を防ぐことを目的とした学習会で、当事者・保護者・支援者などに参加してもらいます。 基礎被害を主に、生涯特性や感覚の問題、必要な手立てや環境設定、二次障害を医療の観点からも学んでいきます。 徹底的に正確に理解をしていくことで、当事者の孤独や保護者の疲弊を防ぎ、当事者の社会参加につながることも将来的な目的です。 【主な活動内容】 ・学習会　久留米ビジネスプラザ
6月	子どもの人権を守る会	子どもの人権プロジェクト	【事業目的】 「子ども基本法」が施行されて、子どもに最善の利益を優先し、子どもの参画の機会を確保することなど子どもの人権を大切にする社会づくりが求められている。また、子どもの虐待・自死・いじめ・不登校など子どもの生命や生活の危機も大きな問題となっている。そのため、権利の当事者である子ども達が意見を出せる場を作り、子どもの権利について学ぶ機会を増やすことが必要である。市民への啓発にも取り組み、子どもが生き生きと学び大人も子どもの人権を大切にする地域づくりを目指す。 【主な活動内容】 ・子ども基本法啓発セミナー　9月 ・冬休みチャイルドサポート活動　12月 ・子どもの権利条約啓発セミナー　10月 ・春休みチャイルドサポート活動　3月

令和5年度　市民活動・絆づくり推進事業費補助金採択事業一覧

■地域まちづくり活動活性化部門

採択月	団体名	事業名	内容
4月	下田校区まちづくり振興会	健康講座や健康体操等による地域住民の健康づくり活動	【事業目的】 地域住民の健康維持、増進のため、高齢者を対象にした認知症予防等の講演会や健康フェスティバルでの健康講座、また中高年層の健康維持のためのコアリズム体操をおこなっていく。 【主な活動内容】 ・コアリズム体操　毎週火曜日 ・健康講演会(食育について)　１０月頃 ・健康フェスティバル　３月頃
4月	善導寺校区新町自治会	「子ども、高齢者、ハンディキャップのある方、介護家族」等への安全・安心を手助けする予防啓発・絆つくり事業	【事業目的】 令和４年度も「コロナ禍」の中での活動運営にはコロナ対策を実施しながら大変苦労した。令和５年度においても、新町自治会として災害時に「重傷者」ゼロを目指し自治会住民の絆つくりや各自の「予防啓発」を進め、多くの住民が参加できる行事を計画実行する。結果、新町に住んでよかった！と思う事が出来る自治会作りを目指す。 【主な活動内容】 ・健康体操、ラジオ体操、ウォーキング、児童見守り隊 ・つどいの会 （遺言、遺産相続、健康、防災講座、防災訓練、インターネット利用講座）
4月	塚崎自治会	塚崎生活支援事業	【事業目的】 １．主に地域の中高年(６０代～８０代)の何かしらの活動への参加で人との繋がりができる等、地域の活性化 ①中高年女性による高齢者見守り、②中高年男女による小学生の登下校見守り、 ③中高年男性による公有地含む環境維持、④中高年男女による伝統情事の支援 【主な活動内容】 ・中高年女性による高齢者見守り　週２～３日 ・中高年による小学生登下校見守り　月～金 ・中高年男性による環境整備　月１回
4月	竹野校区まちづくり振興会	竹野校区の地域史講座と自主防災事業	【事業目的】 様々な社会変化で少子高齢化が進み家庭や地域とのつながりが希薄化している中、この地域の魅力が薄れてきている。地域の方々が地域を知ることで、地域への愛着と誇りが芽生え、より良い活力のある地域づくりにつながってきています。そこで、新しい事業として「地域史講座」を開催し地域の再発見を行い地域再発見マップを作成することで、竹野の魅力の情報発信を行う。 講座内容については、 ①耳納山の「山城」についての歴史的意味を地域住民に発信する。 ②竹野校区の「山城」から故郷の歴史的価値や故郷の魅力を再発見する。 ③竹野校区の各集落の史跡等を紹介し、地域再発見マップ等の制作につなげる。 また、昨年度に続き竹野校区のほとんどが土砂災害警戒区域なので安心して暮らせる地域づくりを目指す目的のため。校区全体また自治会ごとの研修を行い、住民の防災意識の向上に努める。 【主な活動内容】 ・地域史講座　５月～９月 ・防災研修　６月～９月

令和5年度　市民活動・絆づくり推進事業費補助金採択事業一覧

■地域まちづくり活動活性化部門

採択月	団体名	事業名	内容
4月	高良内校区まちづくり振興会	地域資源再生による高良内・杉谷多世代交流促進事業	【事業目的】 地域のつながり希薄化、杉谷地区の高齢化に伴い後継ぎ減少という課題があり戸田友次郎先生(戸田祭り)を永代活性化するために戸田フラワー園を完成させ久留米市にふさわしい”水と緑の人間都市久留米”の観光名所にしたい。 そのため、杉谷地区との連携のもと、同地区にある戸田友次郎先生由来の水田(以下、戸田水田)を花園・花畑として再生させ、多世代が交流し地域の歴史も継承できるような事業を通して、地域力の向上と活性化を図る。 【主な活動内容】 ・フラワー園整備　通年 ・フラワー園パトロール　週１～２回 ・あじさい園開園期間　６月５日～１２日 ・生涯学習　１０月～１１月
5月	下田校区まちづくり振興会	地域の活性化を目指しマルシェや環境美化によるまちおこし活動	【事業目的】 下田校区の人口は毎年減少しつづけており、小学校も城島小学校に統合され、より一層地域の人口減が見込まれる。そのため、少しでも地域の活性化を維持すべく、これまで以上に、校区に住む住民が将来も校区に住み続けたいと思えるまちづくり。校区を離れた人たちが、将来校区に戻ってきたいと思えるまちづくり。校区とは無縁な第三者が、校区を知りたい、訪れたい、そして住んでみたいと思えるまちづくりへの継続した取り組みが必要であり、そのことを目的に、イベントや色んな活動や情報をSNS発信するなどしていきます。 【主な活動内容】 ・にんにく収穫体験 ・環境美化活動とBBQ ・校区まつり ・下田舎マルシェ ・社会福祉法人あおぎり荘まつり参加協力 ・味噌づくり体験教室 ・下田舎Photo ・空き家調査と空き家バンク登録への呼びかけ
5月	筒井区自治会	子どもからお年寄りまで　多世代間交流事業	【事業目的】 今から60数年前に筑後川の治水工事が行われ、筒井地区の中央部を川が流れるようになったため地区が南北に分断された。工事で大規模な洪水はなくなったが、南北間の交流が年を追うごとに希薄になってしまった。一方で地域内の高齢化が進むとともに、久留米や福岡地区へ通勤するためのベッドタウン開発で若い世代が増加し、古くから住む住民と若い住民との2極化が顕著になり、住民間の触れ合いがなくなってきている。また、地域の中小河川に起因する内水氾濫で洪水被害が毎年繰り返されており、水害を中心とする防災対策、なかでも住民間の共助が地区の大きな課題になっている。これらの課題に対処するため、多世代間の交流と地域間の交流を目的に年間を通じてふれあい事業を展開する。 【主な活動内容】 ・ふれあいサロン筒井茶話会 ・春のふれあい花壇ボランティア活動 ・防災講演会 ・元気しちょる会 ・子どもとお年寄りふれあい交流会 ・秋のふれあい花壇 ・ふれあい伝統行事 ・新年ふれあい火まつり

令和5年度　市民活動・絆づくり推進事業費補助金採択事業一覧

■地域まちづくり活動活性化部門

採択月	団体名	事業名	内容
5月	青峰校区まちづくり振興会	ipad講習を通じた多世代交流事業	【事業目的】 青峰校区は、特に少子高齢化が進み世代間の交流が希薄化しているため、アイパッド講習を通じて多世代交流を図る。また、情報共有手段としても活用する。 【主な活動内容】 ・ipadを活用した幹事会 ・ipadを活用した実行委員会
5月	三潴校区自主防災会	自主防災研修・訓練事業	【事業目的】 校区(自治会)住民の自発的な防災活動への意識向上を図る 【主な活動内容】 ・防災講座 ・図上訓練
6月	浮島自治会	UKIUKI広場賑わいづくり	【事業目的】 空き地を活用し、住民が集まりコミュニケーションを図れる場づくりを行う。 また、高齢者の社会参加や子どもの居場所づくりなど多世代での交流にも取り組む。 【主な活動内容】 ・広場の整備（草刈り等） ・日よけ作成・設置、展望デッキ作成（業者に指導してもらいながら作成・設置） ・UKIUKIフリーマーケット ・花壇整備
7月	楢津の2自治会	「通り名で地域を元気に」	【事業目的】 地域住民の高齢化が進むなか、近年、風水害等の災害が多発している。地域の安全は地域ぐるみで守るという意識が自然と芽生えるように、本自治会を縦断する楢津交差点より城崎橋までのメイン通りに親しみやすい 通り名（愛称）をつけると共にオープンスペース等の設置を行い、日頃から住民どうしの 「ふれあい」 が生まれる環境作りを行う事で、交通環境の改善並びに地域住民のつながり・助け合い・支え合う　こころを育て、高齢者・児童の見守り、地域の防犯活動、災害時の協力活動につなげる運動とする。 【主な活動内容】 ・標識の製作、組立、設置 ・オープンスペース内の整備

令和5年度　市民活動・絆づくり推進事業費補助金採択事業一覧

■地域まちづくり活動活性化部門

採択月	団体名	事業名	内容
7月	上津校区自主防災会	住民の自主防災意識を高める活動と一名増員による防災士ＰＲ	【事業目的】 地域の火災、風水害、地震等での人的、物的被害の軽減及び抑止力を高め、地域住民の災害による不安を軽減することを目的とする。 【主な活動内容】 ・防災フェア―inかみつ2023 ・校区運動会時に防災グッズの活用、展示 ・防災講習 ・防災士のＰＲ
8月	江上校区まちづくり委員会	江上の魅力情報発信事業	【事業目的】 江上校区では、様々な社会変化の影響で生活利便性の低下により、地域の魅力が薄れてきている。地域の人が地域を知り、地域に親しみ、地域愛の醸成を図るため江上の魅力の再発見を行う。それに続き、江上の魅力の情報発信を行い、人口減少の歯止め・移住者の増・イベント時の交流人口を増やすことにより、地域活性化を図り、安心して暮らせる安全な地域づくりを目指す。 【主な活動内容】 ・広報誌のカラー版を展示　毎月 ・久留米まち連ホームページの活用　随時 ・魅力発信チラシの発行　1回 ・「和傘の歴史」情報収集 資料作成・保存 ・イベント時に江上の魅力情報発信 ・各部会での取り組みや協議・参画
8月	大城校区まちづくり振興会	地域ふれあい活動「大城くさぐさ」	【事業目的】 大城校区は古くから生活している住民と車氏や福岡市のベッドタウンとして住み始めた若い住民との2極化現象が見られます。さらに数十年前の筑後川河川工事で川を挟み校区が南北に分断されました。このため世代間の分断と、地域間の分断で住民の交流がみられなくなっています。これらの課題克服のため、令和4年度に住民ふれあい活動をスタートし、5年度も活動を継続していきます。テーマの一つがふるさとの歴史で、大城校区という狭い地域に多くの史跡が存在す地域は全国的にも珍しいと言われ大城の大きな財産です。さらに地域が抱える問題に、毎年起こる内水氾濫による水害問題があります。対策として住民の共助による防災活動を進めてまいります。歴史と防災をテーマに「大城くさぐさ(種々)」と銘打ちふれあい活動を行っていきます。 【主な活動内容】 ・ふれあい「AEDと救急救命講座」　10月 ・ふれあい防災学習「地震体験車」　11月 ・ふれあい歴史教室「古代の大城(仮題)」　12月 ・ふれあい歴史教室「北の地域の歴史(仮題)」　1月 ・ふれあい文化講座「防災と久留米昔話落語」　2月
8月	犬塚校区自主防災会	防災研修・訓練事業	【事業目的】 犬塚校区自主防災会では校区内の防災意識の向上と大雨や地震等の災害による被害の防止・軽減を図ることを目的に、本年度も提案事業の「防災研修・訓練」をすすめています。 【主な活動内容】 ・犬塚校区事業模擬練習　5回 ・各自治会「防災研修・訓練」　11回 ・犬塚校区運動会「防災競技」 ・校区「防災研修・訓練」　前期,後期

令和5年度　市民活動・絆づくり推進事業費補助金採択事業一覧

■地域まちづくり活動活性化部門

採択月	団体名	事業名	内容
10月	池の谷自治会	戦争遺跡を明るいイメージに改善する事業	【事業目的】 池の谷自治会では防犯上、鬱蒼(うっそう)な場所になりつつある戦争遺跡「円形野外講堂」「遥拝台」などを、子どものため、地域のため、多くの人に知ってもらう取り組みをしていくことで、戦争遺跡の理解を深め、平和を語る場にし、少しでも(防犯上)明るいイメージにしていけたらと考えます。 【主な活動内容】 ・戦跡めぐり　10月28日 ・遥拝台案内看板作り　10月～2月
11月	水分校区まちづくり振興会	みずわけ桜まつり	【事業目的】 水分校区は田主丸の中心に位置しているものの、公園など人が集まるスポットが少ない地域である。令和４年３月、校区の中心を横断する浮羽バイパス（国道２１０号線）の枝垂れ桜が始めて満開になった。 1,550mの区間に293本も植樹された枝垂れ桜は、校区の浮羽バイパス緑化事業部が年間を通して選定や消毒作業をなどの管理を行っており、その成果もあり満開を迎えた。 【主な活動内容】 ・桜まつり実行委員会,準備 ・ポスター,チラシによる広報活動 ・みずわけ桜まつり
11月	金丸小学校PTA	かなマルシェ	【事業目的】 コロナを経て学校・自治会等の校区内の連携が希薄になっている。このままでは災害の緊急時だけでなく普段の生活にも影響が出ることが考えられる。そこで、校区内を中心としたマルシェを行う事により校区内で集うきっかけとなり校区内で生業を行う方々への応援や広告につながつことで継続的に関わってもらえる仕組みづくりを目指す。 【主な活動内容】 ・かなマルシェ　12月
12月	金島校区まちづくり振興会	金島桜まつり	【事業目的】 金島校区は高齢化率が約４割、また小学校の児童数が１００名を下回り、少子高齢化が大きな地域課題となっている。そこで、金島校区の魅力を地域内外に発信することで子育て世代の定住及び他地域からの移住や金島出身の子供たちが大人になってUターンを希望するような地域づくりを目指す事を目的としています。令和4年度に初めて実施した桜まつりでは、校区内外から700名からの参加者があり、大変賑わいました。本年度も金島桜まつりを実施し金島校区の良さと、地域をあげて子供たちを見守っている姿をアピールする場としたいと思います。 【主な活動内容】 ・金島桜まつり　3月31日 ・金島駅前広場桜並木ライトアップ　3月18日～ ・希望の桜設置　3月18日～

令和5年度　市民活動・絆づくり推進事業費補助金採択事業一覧

■地域まちづくり活動活性化部門

採択月	団体名	事業名	内容
12月	荒木校区まちづくり振興会	荒木町元気づくり事業	【事業目的】 １．地域住民が協働で事業を実施することにより校区内の多世代交流にも繋げ、校区の一体感を醸成していく。 ２．荒木校区の地域でできる持続可能なイベントとしての位置付けにし、ＪＲ荒木駅前や鷲塚公園の活性化に繋げる。 ３．荒木校区の魅力をＳＮＳ等で発信し、新たな観光スポットとして他地域から人を呼び込むことで賑わいづくりを行い、校区の活性化を図る。 【主な活動内容】 ・イルミネーション飾りつけ(即時点灯)　11月25日～1月14日 ・イルミネーション撤去作業　1月20日(予定) ・桜祭り提灯取付作業　3月16日 ・提灯撤去作業